

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			ブレイルームを活用し、体を動かすスペースと落ち着いて過ごすスペースを毎日確保している。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			日々過ごすスペースの床を張替え、凹凸が無くなり過ごしやすい環境にしている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル 目標設定と振り返りに、広く職員が参画しているか		○		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		保護者からのアンケートにて業務改善を行っているが、その他の第三者については明確には行っていない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			毎月1回社内研修を行い、与えられた課題を各班が共有し取り組んでいる。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか		○		保護者から頂いた更新の内容を基に作成をしているが、面談以外に保護者からの接点が少ない。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		ツールを作成するように提案をするが、未作成であったりすることがあるためどちらとも言えない。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			毎月行われるMTGで提案をし全体で共有をしている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか		○		固定化しないように始まる前に何をするかを話し合っているが、固定化しつつある。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		一人一人の課題は設定をしているが、きめ細やかに設定をしていないこともある
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○	何か気になる事や起こった内容によっては話をしているが、他の業務もあるのでなかなか打合せをすることができない時もある。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか		○	記録をとることが少なくその日に起きた出来事を口頭で確認している状況。MTG時には話し合いを設けている。
	18	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか		○	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		引き継ぎ時には学校での様子を伺うよう努めている。また、時間変更や日程調整はその都度適切に行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	保護者の方を通しての連絡なので、こちらからの医療機関との連絡調整は行っていないのが現状。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○	他事業所、保育所等の情報共有に関しては今の段階では行っていない。今後は努める必要がある。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○	主に学校が動いてくださっているので、こちらからの情報共有に関しては無いに等しい。要請があった時は対応をしている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○	今後増やしていく必要がある。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	他との交流については行っていないのが現状。
	27	地域自立支援協議会等へ積極的に参加しているか		○	参加については今の状況では行っていない。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか		○	面談時には様々な話を伺っている。また送迎時に様子をお伝えしている。しかし共通理解としてあるかは疑問なところもある。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか		○	
保護者への説	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか		○	契約時に説明を行ってはいる。また、変更等があった場合はその都度説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		○	支援計画書を通してご家庭での悩みなどを応じている。

明責任等	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	保護者会などの会は行っていない。今後はこのような会を開催する必要があると思う。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか			○	現段階では苦情等がない。苦情等があれば迅速に対応をするよう心がけてはいる
非常時等の対応	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			
	35	個人情報に十分注意しているか	○			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか			○	配慮はしているが、今後更に力を入れていかなければならない。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	事業所での行事は、事業所内で行っている為、招待することができていない。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか			○	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			毎月実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか			○	各班のMTGで話をしている。
41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○	拘束等可能性がある場合は必ず支援計画書には記載をして保護者からの印をもらっている。	
42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○		
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか			○	事故報告書の作成はしている。	

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

コンプライオ第三事業所

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	
環境・体制整備	①	①子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	20	1			21
	②	②職員の配置数や専門性は適切であるか	20	1			21
	③	③事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	17	4			21
適切な支援の選択	④	④子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	22				22
	⑤	⑤活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	21	1			22
保護者への説明等	⑥	⑥支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	22				22
	⑦	⑦日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	21	1			22
	⑧	⑧保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	18	3	1		22
	⑨	⑨子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	18	2	1		21
	⑩	⑩子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	22				22
	⑪	⑪定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	19	3			22
	⑫	⑫個人情報に十分注意しているか	20	2			22
非常災害の対応	⑬	⑬非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	21	1			22
満足度	⑭	⑭子どもは通所を楽しみにしているか	21		1		22
	⑮	⑮事業所の支援に満足しているか	21	1			22

放課後等デイサービス評価表 結果報告

回収率：91%

①子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	26	1
②職員の配置数や専門性は適切であるか	20	1
③事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	17	4
④子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	27	
⑤活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	21	1
⑥支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	27	
⑦日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	21	1
⑧保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	18	3
⑨子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	18	7
⑩子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	22	
⑪定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	19	3
⑫個人情報に十分注意しているか	20	2
⑬非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	21	1
⑭子どもは通所を楽しみにしているか	21	1
⑮事業所の支援に満足しているか	21	1

■ はい ■ どちらとも
 ■ いいえ

⑮事業所の支援に満足しているか

皆様から頂いたコメント（性別や個別性がわからないように少し変更してあります。同じ内容のコメントは件数にて表記しました）

- ③ 1階で過ごす分には問題ない。
- ⑤ 外が好きなので外出プログラムにとっても満足している。
- ⑧ 保護者が時間を取れず面談が出来ていない。
- ⑨ そもそも苦情がありません 他2件
苦情があるのかないのか不明なのでわかりません
- ⑪ 去年より会報があるがより頻繁に会報があると良い。
- ⑫ 連絡帳が他の家のポストに投函させていた時があった。
- ⑭ 相性が悪かった実習中の通所は本人のストレス解消になり、実習の支えになったと感じる。
ルンルンで通所している。
- ⑮ 土曜日に開所して欲しい。

コンブリオ第三事業所

職員による自己評価

A 環境面

・床の張替えを行い過ごしやすい環境になった。

B 児童への支援内容

・支援に関して疑問点や問題点等あれば毎月開催をしているミーティングにて職員間で話し合い支援計画書に盛り込んでいる。支援に関してはその子に応じた支援を各職員が考え、共有出来ている。

C 関係機関との連携

相談支援事業所等を利用されている方がなく、機関としての連携はない。またこちらからのアプローチも今のところは出来ていない。

D 保護者への説明責任・信頼関係

送迎時その日の様子、普段と少し様子が違うなど常に話している。また、何かあるようなら早急に連絡をして対応をする等行っている為信頼関係も築けていると思う。

E 非常対応

毎月地震・洪水想定避難訓練を行っている

保護者による評価

A 環境面

・活動スペースは十分に確保されている。
・1階なので特に問題はない。

B 児童への支援内容

・個人的に活動は聞いているので特に不満ない。
・相性が悪かった実習中の通所は本人のストレス解消になり、実習の支えになったと感じる。
・時間がなかなか取れず面談が出来ていない。

C 事業所からの情報発信

・去年より会報があるが、より頻繁に会報があると良い。

D 非常対応

・概ね満足されている

事業所内での分析

【共通点】

・その子に合った支援計画書の作成を全職員が心がけており、その結果が保護者からの意見として挙がってきているのかと思われる。また、面談時はもちろん、連絡帳・送迎時には気になる点やその日での出来事を細かく話している。活動スペースについても子供たちが安心して過ごせる環境づくりを心掛けている。保護者の方からも十分に確保できているや子供たちが楽しんでいる様子が伺えるとの声が多かった。

【相違点】

・会報を作成し発行をしているが、保護者の方はもう少し情報が分かりうる物がもう少しあってもいいのではとの意見があった。

分析・検討してみて…

事業所の強み

- ・お子様の様子で普段と違うところがあればすぐに職員間で話し合いを設け、保護者の方にいち早く報告をし、今後の支援方法に関して具体的に話をする。定期的に我々が見えない部分（学校、ご家庭等）の情報を収集し、支援に繋げている。

事業所の改善点

- ・事業所からの情報発信が保護者の方に分かりづらい点。
- ・会報等の手紙を増やしていく。（全体、各事業所から）

事業所の改善への取り組み

- ・事業所からの情報発信を行う。引き続き毎月コンブリオ通信を発行。
- ・概ね満足されている保護者の方が多数いらっしゃったが、お子様が満足できるよう、会社内・外部等の研修の参加をし、全職員のスキルアップを目指していく。
- ・他事業所・地域・行政との連携を強化していく。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

皆様から貴重なご意見・ご感想をいただき、大変感謝しております。皆様からの貴重なご意見を基に、まずは職員間で皆様からのご意見を共有し、今後の支援に活かせるようにしていければと思います。また今後はより情報発信の場を設け、保護者の方々との距離を縮めていきより深い支援が行えるよう、環境づくりをしていけるよう努めなければいけないと感じました。

事業所名：コンブリオ第三事業所

担当者：三竿 哲也